京都労山

2026年10月号

No.400

発行日
2026年9月28日

発行所:京都府勤労者山岳連盟 発行者:中村好夫 編集製作:機関誌委員会 発行:毎月第3月曜日

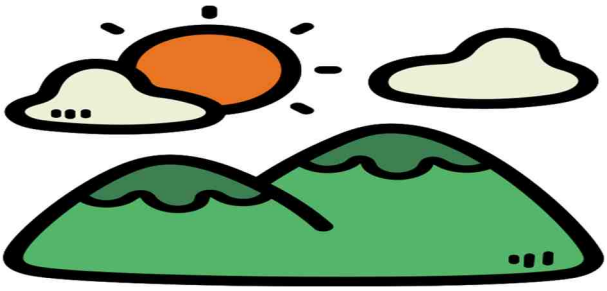
所在地 〒.616-8042 京都市右京区花園伊町4 ☎.075-275-0453 FAX.075-468-1793
【ホームページアドレス】 http://www.dab.hi-ho.ne.jp/kyoto-rozan



京都府勤労者山岳連盟

京都労山『六つの合い言葉』

（一） 私達は、山を勤労者の身近なものにする為に力を合わせよう。
（二） 私達は、登山によって健康な身体と豊かな心を育てよう。
（三） 私達は、登山によって助け合う心と友情を深めよう。
（四） 私達は、多くの人達と交流し山を愛する仲間を増やそう。
（五） 私達は、力を合わせ正しい山のモラルと高い技術を生み出そう。
（六） 私達は、安全で確実な登山思想を身につけよう。



10 月号目次

＊ 六つの合い言葉・目次
＊ ステップアップ　クライミング委員会・・・・・・・・・・・・・・・・・０１
＊ 事務局長会議報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・０２
＊ 拡大事務局長会議報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・０３
＊ 自然保護セミナーの案内・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・０４
＊ 近畿ブロック雪崩講習会の案内・・・・・・・・・・・・・・・・・・・０５
＊ クライミング委員会山行案内・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・０７
＊ 60 周年記念実行委員会からのお知らせ第 5 号・・・・・・・・・・・・０８
＊ 60 周年記念講演会案内チラシ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・０９
＊ 60 周年記念実行委員会第 21 回の記録・・・・・・・・・・・・・・・１０
＊ 60 周年記念実行委員会第 22 回議事録・・・・・・・・・・・・・・・１１
＊ 大文字山登山道整備の案内・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１２
＊ 大文字山登山道整備の報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１３
＊ ＜寄稿）女性委員会の想い出・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１５
＊ 連載企画・二百名山登頂シリーズ第 68 回「浅間隠山」・・・・・・・・１６
＊ 10 月号の案内・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１７
＊ 連盟月間予定表「カレンダー」・・・・・・・・・・・・・・・・・・・裏表紙

クライミング委員会ってどんなところ！？

クライミング委員会　梅若光明

皆さま、『クライミング委員会ってどんなところ？』って思ったことはありませんか。

私は 2 年半住んでいた単身赴任先でやっていたクライミングを、赴任を解かれた後も続けたいと思い、連盟のホームページでクライミング委員会の事を調べたのですが『委員会について』の項目に

*『意識レベルの高い登攀要素を含む山行を目指し、それを自己表現できる方。（委員に求めるこの“自己表現”とは、“自らが例会山行を企画、実行できること”を指しています。それができない方の委員への志望はお断りしています。また、委員になられても“自己表現”ができていない方は、退会して頂く場合がありますのでご理解下さい。）』*と書かれているのを読んで、きっと委員の人達ってバリバリのクライマーで体育会系の集団なのだろうなって思いました。

自分が委員になってやっていけるのだろうかとすごく不安になりましたが、登攀技術を向上させたいと言う気持ちと、自己表現を頑張ってやればいいんだよなって言う気持ちで委員になる事を志望しました。

主な委員会の活動は、連盟事務所で 2 ヶ月に１回行われる会合で、各人がやりたいことや行きたい所を持ち合って話し合い、その結果に基づき月 1 回から２回、登攀をともなう山行を実施すること、公開山行の計画・実施、連盟イベントへの参加などです。

私も委員になったお陰で、色々なゲレンデに行くことができ、技術の向上を図ることもでき、また時には山行そのものあり方を語り合う事もあり、委員になって本当に良かったなと思っています。

ところで所属する前に気になっていた委員会の雰囲気とか委員の方々ですが、皆さんそれぞれ得意分野があり、ある意味変人の域に達している人もいるのですが、それを自慢するわけでもなく、上から目線でものを言う人もなく、言いたいことも遠慮なく言える雰囲気で、連帯感もありとても和やかに過ごす事ができています。

きっと委員会のメンバー達が歓迎してくれますので、クライミングに興味のある方、一緒に登攀する仲間を探している方、ぜひ一度委員会の会合を覗いてみてください！

クライミング委員会 URL http://www.dab.hi-ho.ne.jp/kyouto-rozan/climbingbu.html
メール　kr_climb@yahoo.co.jp

事務局長会議報告　（各会と連盟の活動報告・意見交換・情報交換を目的に開催）

(通常分)

９月１日：やましな,乙訓,右京,西山,伏見,洛中,明峯,左京,山城,WAO 10 労山報告

各会の活動状況（前月の例会や集いの実施状況・予定等)[各会・クラブ機関誌参照]

・**[右京]＜例会＞**8/2 清滝川→保津峡 19 人,30 竜王山 21 人**＜予定＞**9/6 金比羅クライミング,27 比叡アルプス**＜その他＞**12 月６日 60 周年パーティスマイルガーデン

・[**やましな]＜例会＞**8/15 赤目 48 滝 9 人,22 ビアパーティ 13 人,30 早朝大文字山 13 人**＜予定＞**9/19～20 白山,9/26,27 バスハイクトレ山　大文字山

・**[西山]＜例会＞**8//23～26 富士山 10 人,8/30～９/１甲斐駒・仙丈ケ岳 9 人**＜予定＞**9/12 中級教室座学,21～22 熊野古道中辺路**＜その他＞**９/13 第３回山行計画会議

・**[乙訓]＜例会＞**8/1 六甲風吹岩ナイト 9 人,23 ナツエビネ探索二ノ谷山４人**＜予定＞**9/13 鞍馬・貴船,24 奈良・飛鳥①、26～27 竜の小屋メンテ小屋泊/テント泊

・**[洛中]＜例会＞**８/２白滝谷沢登り 5 人,９サカサマ谷**＜予定＞**9/6 岩トレ金比羅,13 クライミング金比羅**＜その他＞**60 周年記念誌・記念品手ぬぐい、新リーフレット

・**[伏見] ＜例会＞**8/2 大文字 de 沢歩き 12 人, 8/19 愛宕山トレ 8 人**＜予定＞**9/4～７剱岳,13 比良・ワンゲル道～釈迦岳**＜その他＞**10/11 伏見搬出技術講習会

・**[明峯]＜例会＞**８/１北山を歩こう「妙」「法」13 人,11 二の谷ナツビエ４人**＜予定＞**９/6 ウオーキング史跡巡り山科南ルート,13 高島トレイル大御影山

・**[左京]＜例会＞**8/１～２くつきの森４人,17 火床４人**＜予定＞**9/27 須磨アルプス

・**[山城]＜例会＞**8/１赤目 48 滝 30 周年記念７人,24～２６白馬乗鞍・栂池４人

・[WAO]ヒヤリハット報告１件有

連盟の取り組み、活動報告　（連盟の取り組みや活動状況を連盟事務局から報告）

① 60 周年実行委員会 11 月 14 日(土)記念講演会・集会参加者を各会実行委員が集計。参加者９月実行委員会で中間報告し,10 月を最終集計とする。事前チケット配付制チラシ作成

② 60 周年記念誌の各会活動報告　９月１８日(金)締め切り

③ 今回事務局長会議は拡大会議とする(別紙報告有)、各会の代表クラスと事務局長の参加を要請。全国の連盟費引き下げに対し各会からの意見を聞き取る。

10 月事務局長会議は、10 月６日(火)とします。ＷＥＢ専用。

９月１日拡大事務局長会議議事録(連盟会費の件)　11 労山参加者 24 名

（　各会事務局長 10 名、各会から７名、常任理事７名　）

右京―吉野・近藤/ 乙訓―井上・近藤直人・西村/ 西山―依田・安達/左京―岩根 明峯―花折し・坪山/やましなー星野・青山大地/山城―小倉・沖/WAO―谷村・菊沢/田辺―小泉・宮内・川上・平尾/福知山―金山Ｍ・金山Ｗ/丹後―川端・上羽　(敬称略)

① 坪山理事長・西村事務局長から論点について意見交換があり平尾副理事長の司会進行で始まった。（各会からの意見を発表順に記載する。）

② 右京-近藤　過去に 100 円から 130 円に上がった分が値下げになった流れから、元に戻るなら各会からの会費を引き下げるべきで、今後の会員会費引き下げに繋がる。何故、京都連盟にプールするのか分からない。京都連盟の必要分と今回の値下げは別に議論していくべきである。

乙訓-近藤直人　当会としては装備の補填等出て行くお金が多い。値下げ分は会として使いたい。

西山-依田　各会に還元してもらいたい。

左京-岩根全国の会費が下がったなら、京都も下げるべきである。

明峯-花折し　値下げ分、交通費補助等の経費充当分として連盟に渡す。

やましな-星野　会として経費が苦しいので、山の会に還元してほしい。

山城-小倉　年金生活者として値下げを正直喜んでいる。

WAO-菊沢　会に返すべき。会費値下げ等に使わせてもらう。

田辺-小泉　全国連盟よく下げた。一旦下げたものを上げることは難しい。資金は５～10 年後を見据えてキープするべき。京都連盟がピシとしなければ、むしろ会員減少が起きる。

福知山-金山Ｍ　田辺小泉さんと同じ意見。５～10 年後を見れば交通費も出せない組織では、存続は難しい。

丹後-川端　減額分は会に戻してほしい。総会で何度も提案したが、入会者を増やすには会費の減額を行うべきだ。

参加はなかったが、二つの山の会から意見が出ている。

伏見-会への還元の意見が多く、伏見としては「会に還元」が結論。

樹の根-値下げ分は京都連盟の経費充当でよい。

洛中、らくなん、舞鶴山遊会、丹波からは意見陳述はなかった。

以上

2026 年度　自然保護セミナー（案内）

京都府勤労者山岳連盟　自然保護委員会

～連続テーマ　「北陸新幹線延伸計画」の環境問題を考える(8 回目)～

演　　題　　「多様な自然の価値を気づき、認め、共有していく」

講　　師　　石原正恵氏　（京都大学フィールド科学教育研究センター芦生研究林准教授）

日　　時　　**2026 年 12 月 13 日(日)　13:30～16:30**

会　　場　　**京都教育文化センター　301 号室**

定　　員　　60 名（会員外の一般参加者も歓迎です）

参 加 費　　300 円

〆　　切　　12 月 6 日（日）

今回は「北陸新幹線延伸計画の環境問題を考える」シリーズの 8 回目です。講師の石原さんは、「巨大開発工事の議論では多様な自然の価値は無視されています。なぜ自然を守る必要があるのか、美山町に住み地域の方々から学んだことや、近年の議論の動向など」を紹介される予定です。

与党整備委員会は、2026 年 7 月に北陸新幹線延伸計画のルートを小浜・京都ルートの桂川案に決定しました。京都の自然と環境を守ることについて交流し、計画の中止を求める行動を諦めずに続けていくエネルギーにしましょう。

※ 申込先　各会の自然保護委員又は下記に申し込んで下さい。

担当　谷口（200719subaru@gmail.com 又は 090-6664-7342）

所属会、氏名、電話番号をお知らせください。（会員外の方は氏名、電話番号）





第32回 近畿ブロック 雪崩事故を防ぐための講習会 参加者募集！

雪山を楽しむ方に必須の「雪崩の知識と対処法」について実践的に学びます。

主催　日本勤労者山岳連盟　近畿地方協議会

Theory 理論講習

日　　時：2026年12月5日（土）
　　9時00分～17時00分
場　　所：大阪府勤労者山岳連盟事務所
※リモート受講可能ですが、現地が原則です。
※テキストは「雪崩事故を防ぐための講習会テキスト（第3.0版）」（日本勤労者山岳連盟 中央登山学校著）を使用します。

天候などの都合により、理論講習とビーコン講習の日程を入れ替えることがありますのであらかじめご了承ください。

Beacon ビーコン講習

日　　時：2026年12月6日（日）
　　9時30分～16時00分
場　　所：須磨浦海岸
　　※JR須磨駅改札前集合
実 技 内容：
●雪崩ビーコン
（アバランチトランシーバー）の基礎
●ビーコンを使った捜索方法などを砂浜で学びます。
持ち物：ビーコン、筆記用具、手袋、
　　防寒・防風衣類など

Practice 実技講習

日　　時：2027年1月16日（土）～17日（日）
場　　所：大日ヶ岳山頂 付近
集　　合：1月16日（土）7時00分
　　高鷲スノーパーク センターハウス
　　インフォメーションカウンター
　　※各自現地集合　　終日実技講習

（実技内容）
・積雪断面観察
・積雪の危険度評価
・コンパニオンレスキュー
・ビーコン捜索
・シャベリング（掘り出し）　など

1月17日（日）　8時00分～14時30分　実技講習
　　15時00分頃　解散予定

受 講 料

（理論講習＋ビーコン講習＋実技講習）19,500 円
※宿泊費（1 泊 2 食）・ゴンドラリフト代含む
※現地までの交通費は含みません
（理論講習＋ビーコン講習）5,000 円
（理論講習）2,000 円



装　　備

冬山基本装備、ビーコン、プローブ、シャベル、行動食（2 日分）
（理論講習時に雪崩対策装備を購入する場合のアドバイスをします）

定　　員

基本クラス　24 名
※中級クラスの開講はありません。
※基本クラスの複数回受講者が増えた時点で、将来的に中級クラスの開講を検討します。

申 込 方 法

右記の QR コードから申込フォーマットへアクセスし、必要事項を入力の上お申し込み下さい。
※もし、回答フォームが開かないなどの問題がある場合は、下記の「連絡先」にお問い合わせください。

申 込 締 切

11 月 8 日（日）　※定員になり次第締め切ります。

- 参加費の振込先は申込受理後にお知らせいたします。
- 労山基金または一般の登山保険に加入をお願い致します。
- 申込後のキャンセルはキャンセル料が発生します。

連絡先：staff@kinki-nadare.sakura.ne.jp（近畿ブロック雪崩講習会事務局）







【クライミング委員会 山行案内】

金毘羅 継続登攀
～マルチピッチロープワーク勉強会～

金毘羅で継続登攀を楽しみながら、マルチピッチでのロープワークの勉強会をします。コースは、北尾根～船～北壁～ビビりを予定。

≪目 的≫ ○クライミングを楽しむ
○登攀技術の共有と向上
○京都労山会員の交流

≪対象者≫ ○クライミング経験者
○労山基金５口以上、またはそれに準ずる山岳保険に加入している方

≪装 備≫ ○登攀装備(ロープは必ず持参)
○日帰り登山装備一式
※各自自己判断でお願いします

≪ 日 ≫ 12月6日(日) ※荒天中止
集合場所:江文神社 下 駐車場 8時

≪定 員≫ 5人 ※先着順

≪申込連絡先≫ クライミング委員会メール kr_climb@yahoo.co.jp
※計画書のフォーマットを送りますので、必要事項を記入し返信して下さい。

≪申込締切≫ 11月15日(日) 厳守

京都労山 60 周年記念行事

≪記念講演会＆交流分科会≫

開催日：11 月 14 日(土)　場所：京都教育文化センター

※会場の駐車場は使用できません。なるべく公共の交通機関でお越しください。
　車の場合は、最寄りのコインパーキングなどを使用してください。

午前／交流分科会　9:15 開場(受付)～9:30 開催～12:00 ごろ

①各山岳会の活動報告会(101 号室)

②連盟活動報告会(301 号室)

午後／記念講演会　13:00 開場(受付)～13:20 開演～17:00 ごろ

①《いつまでも元気に楽しく登山を続ける為の秘策》講師:安藤真由子さん

②《労山とともに》 講師：飯田昌和さん

～分科会、講演会の詳細は 7・8 月号に掲載しています。ご確認ください。～

◎昼食会場として、101 号室・301 号室を開放しますのでご使用ください。
　使用後は、掃除・片付けにご協力お願い致します。
　昼食はご持参ください。教文センター近くに飲食店は多数あります。
　※ 講演会場(ホール)内は、飲食不可です。

＝備考＝

　記念講演会は、受付時の混雑をさけるためチケット配布制にします。各会へチケットの原紙をＰＣメールで送りますので必要分をプリントし、入場の際に一人一枚受付へ提出してください。

　また、それぞれの参加者数を以下の通りお知らせください。

――――――――――――――――――――――――――――――――

〇〇山岳会
午前：① 〇人　② 〇人
午後：〇人
※午前の人数は席に限りがあるのでなるべく正確な人数をお願いします。
　午後の人数は大凡で大丈夫です。

――――――――――――――――――――――――――――――――

　9 月の実行委員会会議時に中間集計、10 月の実行委員会会議時に最終集計を行いますので、それまでに各会実行委員へご連絡お願いいたします。

　その他、問い合わせなどは、各会の 60 周年実行委員までお願いします。

担当：60 周年実行委員会(田辺／山城／らくなん)

京都労山 60 周年記念行事 **記念講演会**

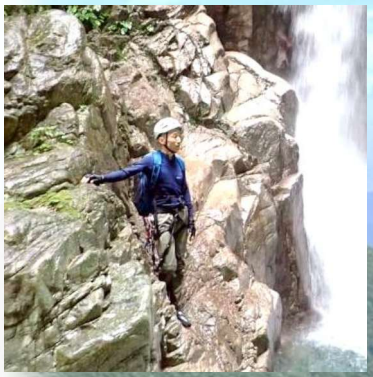
《いつまでも元気に楽しく登山を続ける為の秘策》

疲れないペース作りや歩き方、日常生活でできる登山のためのトレーニング方法など、何故それが大事なのかをお話しして頂きます。

～講師プロフィール～
登山の運動生理学を学び、2018 年鹿屋体育大学博士期課程修了
健康運動指導士、登山ガイド



講師:安藤真由子さん



講師:飯田昌和さん

《労山とともに》

自分史を振り返りながら、様々な山登りジャンルの魅力と、登山者として大切なこと(考えや気持ち、心構え)について、お話しして頂きます。

～講師プロフィール～
大学卒業後、上京明峯(現:明峯)に入会
国内の雪山やバリエーションルート、ヨーロッパアルプスの登山歴など

開催日:11 月 14 日(土)

場　所:京都教育文化センター(ホール)

参加費:無料(京都労山会員)

【スケジュール】
13:00　開場(受付)
13:20～安藤さん講演
15:00－休憩－
15:20～飯田さん講演
16:20－閉会挨拶など
17:00　終了(予定)

※会場の駐車場は使用できません。なるべく公共の交通機関でお越しください。
車の場合は、最寄りのコインパーキングなどを使用してください。

※受付時の混雑をさけるためチケット配布制です。入口で一人一枚受付へ提出してください。

※問い合わせ等は各会の 60 周年実行委員まで

60 周年記念行事のメインテーマは、**「“京都 18 労山の交流”と“世代間での経験・登山技術の継承”」**

◎午前の交流分科会も多くの参加をお待ちしています。

【各山岳会の活動報告会(101 号室)】 報告会:田辺、山城、らくなん、洛中、西山、福知山
あまり対面で聞くことのできない他会の活動について、写真などを見ながら報告していただき、会の垣根を越えた交流の場と、京都労山加盟の山岳会全体がより活発に活動できるきっかけとなる場にします。

【スケジュール】
9:15 開場(受付)
9:30 開催
－適宜、休憩－
12:00 終了

【連盟活動報告会(301 号室)】 報告委員会:自然保護、ハイキング、教育、遭難対策、クライミング
青年委員会と女性委員会の休会など、連盟活動が以前より縮小してきている中で、各委員会の活動とその必要性を改めて知ってもらう場として、機関誌では伝えきれない話について写真などを見ながら報告します。

第21回60周年記念実行委員会議事録（改訂バージョン)

2026年8月19日(水) 19時30分～20時30分　　(リモート専用)

参加者 西村(乙訓)、山本(洛中)、小泉(田辺)、金山(福知山)、青山(山科)、沖(山城)、奥田(らくなん)、高野(伏見)、岩根(左京)、高木(右京)、坪山(明峯)、近藤(乙訓)、野原(WAO)、安倉(田辺) 計14名　　記録 西村

・タイムスケジュールに沿って議論を進める。

＜報告・検討事項＞

① (午前)各山岳会からの報告会 司会 林さん(らくなん)に決定。→大江さんに変更

② (午前))連盟活動報告会　司会 大江さん(洛中)が担当。→林さんに変更

＊午前の交流分科会に取りまとめ者は必要か？→開場前に設営等の準備が必要で その時点の指示役が会場全体の責任者になる。8月 26 日の三労山のライン会議で、教文のレイアウト図を見ながら配置進行を検討し決定する。

③ (午後)記念講演会　　司会者ー明峯 花折さんにもう一度当たる→花折さん OK

ロビーでの受付準備が必要。講演会場は教文センターの担当者2名がやってくれる。

・安藤さんにコンタクトして詳細を詰める。→8月21日電話確認済み(別紙)

チケット 原本(見本有)をメールし各会の実行委員が手配する

④ 全体での問題点

・記念講演会 ミニマムで200人は集めたい。現状十分な盛り上げに至っていない

・各会での参加状況の報告

西山 HCー現状は参加者6名のみメールあり。→京都労山最大 140 人の会員規模があり、参加者増加を要請した。

洛中ー運営委員会で話はしていると「しょいこ」に掲載。十分な浸透はできていない 9月に洛中60周年のレセプションがありピーアールを強化する。

田辺ー具体的な数字は掴んでいないが、担当会として盛り上がっている。

左京ー小さな会であるが喧伝しており参加者は見込める

福知山ー会員の認識は十分であるが、会場までの交通手段に問題がある。

他の丹後、舞鶴山遊会には個別に喧伝する。

WAOーグループライン活用。去年の交流会からあり 10 人は固い。20名まで増員目指す。①の参加希望者が多い。

⑤ その他　西村から提案→ ①②③の具体的な内容を入力した魅力あるチラシを作成し、実行委員から会員に配信、配布する→9月初めまで→チラシ完成配付

・参加者数を実行委員がまとめ9月16日報告→中間集計。参加状況を確認し、他団体の参加も検討。・チケットは当日に参加者に渡す方法もある。各会で工夫要。追加 参加数報告はらくなん山の会奥田さん green2006sh@yahoo.co.jp に送信。

次回の実行委員会は 9月16日(水)PM7時30分とする。

第22回60周年記念事業実行委員会議事録

2026.9.16

参加者：宮内、安倉、小泉（田辺）、奥田（らくなん）、沖（山城）、永田（西山）、山本（洛中）、岩根（左京）、近藤（乙訓）、野原（WAO）、高野（伏見）、金山（福知山）、青山（やましな）、坪山、西村、平尾（連盟）　　記録：平尾

＜検討・報告事項＞

① 11月14日(土)記念講演会の参加者数中間集計について
9/16時点、提出6会（やましろ、西山、明峯、らくなん、伏見、樹の根）
集約数：午前17名、午後64名＋福知山9、亀岡19、田辺20　講演会は150名位
午前どちらの分科会に参加かをつかめる範囲でつかむ
９月末に集計したメールを委員に送付する（担当奥田）

② タイムテーブルの検討・確認
実行委員は9時301号室集合　会場取りまとめは青山委員長
受付の分担　午前　会活動報告（田辺）、連盟活動報告（らくなん）午後（山城）
チケット受取はホール入口（4ヶ所）に箱を置き行う
挨拶の分担　講演前（坪山）、終了後（中村）
午前の交流分科会について　発表順はタイムスケジュール表どおり確定
（会活動報告）　１田辺、2山城、3らくなん、4洛中、5西山、6福知山
（連盟活動報告）１自然保護、2ハイキング、3教育、4遭対、5クライミング

③ チラシ・プログラムについて
青山委員長作成のチラシ好評。「京都労山」10月号、11月号に載せたい。
午前・午後通しのプログラムを10月初旬目途に作成する。シンプルなもの
交流分科会は団体名・発表名・テーマを記載。
午前の交流分科会は、今後の京都労山のあり方を占うものと位置づけます。
発表各会と連盟委員会部員の参加は見込めるが、一般会員の参加を募りたい。
安藤先生から、講演内容の概要が届いた。(別紙)

② 午後の講演会の看板について
教文センターからの見本(W5400×H90)
「60周年記念講演会」の前に「京都労山」か「京都府勤労者山岳連盟」のどちらを入れるかは、10/8の担当3回打合せで決定する

③ 記念誌各会報告は17労山の内９労山から集まり、２労山から問い合せがあった。締め切りは、９月18日(金)。

④ その他
会場下見　3労山で日程調整する
次回委員会（最終）　10月21日（水）　　以上

京都府連盟登山道倒木整備 ―大文字山を整備しよう

これまで登山道を使った感謝の念と恩返し、多くの登山者の安全のために

４月から新島襄のお墓の南の方を整備していしします。行きかう登山者が多く整備のやり甲斐があります。登山者に迷惑がかからないように整備します。ここは 10 月で 7 回目になりますがまだまだ切る木は一杯あります。

これまでと同様に参加者の力量に応じて、力のある人はノコギリで倒木伐採、大木運搬、力のない人は小枝切り、小枝整理、声援と分担して行いますので誰でも参加できますのでご安心下さい。ケガをした場合は労山基金も対象になります。

登山道整備は京都大阪森林管理事務所の承認を得て実施しています。伐採する倒木には１本１本管理事務所の伐採許可番号札が貼り付けられています。

みんなで頑張って楽しく安全第一で整備しましょう。参加をお待ちしています。

★実施日： 10 月 3 日 11 月 21 日（いづれも土曜日）
本降りは中止。小降りは状況によって実施。天候が怪しい時は前日か当日の朝早く判断して中止メールを送ります。
★申し込み締め切り：実施週の月曜日
★集合場所：南禅寺タクシー乗り場横の山門　8 時 30 分には出発します
★参加申込先：連盟登山道整備担当　やましな山の会 青山郁夫
080-3797-4392　携帯メール　2382m.ikuo1025@ezweb.ne.jp
留守宅（緊急連絡先）も教えて下さい。
★参加条件：労山基金を含め山岳保険加入者
★持ち物：カッパ、ヘッドランプ、レスキューシート、タオル、安いゴム手袋（なければ軍手）お弁当、救急薬品　ヘルメット（必携）、ノコギリ（なければお貸しします）、長靴（任意）、スパッツ（任意）、笑顔（必携）
必要に応じて簡易ハーネス、カラビナスルー装備、自己確保装備
★共同装備：9㎜.8㎜ ロープ、ビニール紐、カラビナ、ダック、サムスプリント
★その他



・作業の前には危険予知を相互に行い安全作業に努める。
・木が 1/3 切れたら声を掛けること。1/3 でも突然、木が切れ落ちることがあるので注意！
・木を切る前には切れた木がどちらに落ちるか、跳ねるかを常に予想して退避方法を考えておくこと。
・切った木を運ぶ時も木がどう動くか予測しておく。
・コロナはまだ続いています。インフルエンザも心配です。
本人や同居家族で微熱や、咳、喉の痛み等がある場合は参加を取りやめて直ぐに発熱外来（今もあるのかな？）に行って下さい。

京都府連盟 ～大文字山登山道倒木整備報告～

連盟登山道整備担当：青山郁夫

2026 年 8 月 12 日（晴れ）
やましな：郁夫、久子　右京：西村澄子　村上明彦　荒木賢子　河合恵子　栗山元伸　河本緑　8 人
南禅寺山門前 8:13--8:42 新島襄のお墓の東の谷整備 13:57--14:17 南禅寺山門前

栗山元伸さん、河本緑さん、2 回目の連続参加、ありがとうございます。これからも来てくださいね。

本日、5 月から取り組んでいた杉(幹の太さ最大で 51㎝）と松(幹の太さ最大で 42㎝）の大木の倒木の整備が完了しました。こんなに太い木はこの先、もう無いかと思います。本当に沢山の参加者だったからこそこんなに早くできました。やったね。

今、整備している登山道に大きな杉が倒れ掛かっていたので先月、京都大阪森林管理事務所に報告しました。管理事務所は現場確認をしてくれて、登山道に倒れ掛かっている杉の下を歩くのは危険と登山道に「危険テープ」を張ってくれました。でも、この危険テープをくぐって行く人がいます。

これではダメとみんなで迂回路を作りました。立派な迂回路です。これで「危険テープ」をくぐって倒木の下を歩く人もいなくなるんではないかと思います。

荒木賢子

暑くて水分補給ばかりで、冷たいものがおいしい。
神の声なのか 2 時で終了との声！　我ながら良く頑張りました。
スイカ美味しかったです。

河本 緑

平均年齢？歳の先輩達が黙々と木を切り、木々を集め、美しく整備される姿は感動です。
川で冷やしたスイカも美味しかったです。また参加させていただきます。

西村澄子

暑い日の、作業は中々 チカラ も継続力も半減します。何とか 2 時の終了時間迄頑張りました。お疲れ様でした。

村上明彦

3 回でやっと大木が片付きました。暑いなかの作業、達成感と感慨深い気持ちです。

力を合わせた皆さん全員の奮闘にビックリです！

栗山元伸

直径 40cm の倒木のノコギリでの裁断は、思いの他、大変な作業であることを実感した１日でした。

参加者が丁寧に、一生懸命に取り組まれている姿に刺激を受けて何とか全う出来たように思います。

森の木陰の中での作業と差し入れのおやつがとても体に浸みました。

河合恵子

暑くて力が入りません。それでも積み残しの丸太は切れ、迂回路の片付けも頑張りました。広場が少しずつ形になってきます。

スイカ美味しかったですよ。

青山久子

参加してくださった右京労山の皆さんの頼もしいこと！リーダーの登山者の安全意識を促す迂回路作りに精出していただきました。

山の斜面に倒れていた太い杉や登山道を横断していた松も綺麗に積み並べられた枝の山を見ると、かいた汗も報われます。来月も頑張ります。



杉の大木。最後の仕上げです。
よく頑張った。



松の大木。これもここを切れば最後です。もう一息。



登山道に倒れている杉に地に近づかないようみんなで迂回路作りです



迂回路の入り口。危険テープの下に木を置いてテープを安易にくぐれないようにしました。



一杯、朽木や木の枝を集めて広場を綺麗にしました。



整備した杉の大木の前でみんなで記念撮影です。やったね。

思い出の女性委員会

１９６８年大阪府連が婦人部を発足、数年後に兵庫県連、京都府連と婦人部を立ち上げる。基本テーマ一が（生涯登山）何者にも捕らわれない山への思い。
しかし女性がどれだけの事が出来る？女には無理！婦人部など必要ない！と言い切る男性も居たとか、今の時代では、全く通じない言葉だ、、。
そんな言葉など諸ともしない頑強な女性達がトップを行き岩や沢登り等の活動を継続して来た。１９８９年頃に婦人部から女性委員会に改名する。

私が女性委員会を知ったのは２５，６年前でしょうか？
数年して女性委員会の委員に成り１７年、、その間 SI さん TA さん TU さん KO さん MI さん KI さん KO さん方々と共に毎年講座や春夏秋冬の山行案内を出し労山会員の方々と共に楽しみました。

（女性のための山登り講座・初級編）を毎年実施し（コロナで数年中止）京都新聞掲載や山道具屋さんに募集のチラシ置かせ頂きました。毎回１０名前後の若い女性が受講（数名の時もありました）とても嬉しく、講座をしていて充実感を覚えたことを思い出します。勿論、なかなか全員が入会とは行きませんでしたが、その都度数人の方々の入会が有りました。受講生のあの顔この顔を思い出して、今頃は何処かの山岳会やクラブに入って活躍してくれていたら嬉しいな～と思っています。

近畿ブロック女性委員会の方々との交流も、学ぶ事が多かったように思います。
楽しかった交流会や交流山行、会議の難解な問題、難しかった話し合い、、
学ぶ事が多かった全国交流集会（九州から北海道まで）も今と成ると良い思い出です。
長いようで短かった役員でしたが充実した期間でした。

女性委員会最後の２月案内も体調不良で参加出来なくて、とても残念でした。
年齢的にも無理が出来ない体に成り委員長を代わって頂く事も叶わず（委員も高齢化）
女性委員会の解散を考えました。
しかし何時か、、、必ず何時か、、、新しい空気を吹き込んでくれる、次世代の方の誰かが立ち上げてくれる事を願って女性委員会を【休会】とする事に致しました。

お互い元気で居ましょうね、と２月最後の委員会会議を終えました。
この紙面を借りて、労山会員の皆様、女性委員の皆々様ありがとうございました！

元女性委員会委員長　　平田和子　　樹の根１７組

登頂順二百名山登頂記録 68　　乙訓山の会 小川　繁

№136　**浅間隠山 1757m**　　2010.07.27(火)

7.25(日)～29(木　北関東単独山行

25(日)朝から北関東山行に出発。先ずは四阿山へ。菅平牧場登山口から山頂往復し高峰高原ビジターセンターPで車中泊。

26(月)浅間山から下山後浅間隠山へ移動。

15:12 登山口P着。雲が広がり今にも降りだしそうな空模様。昨日は5時半頃から降り出した。何とか間に合うか？登り始めて10分程でポツリポツリ。やがて本降りとなるが傘で凌ぎ乍ら登る。袖ヶ浦からの家族とすれ違う。

16時頃頂上まで後2～3分の所迄来たが豪雨＋雷。雨は益々激しくなり暫く木陰で様子を見たが合羽を着て下山を決意。登山道は川どころか滝の様だ。どんどん削られ溝が掘られて行く。命からがら下山する。

16:51 登山口P着。大急ぎでずぶ濡れの服を全て着替え榛名山麓･国民宿舎吾妻荘へ移動。

18時頃吾妻荘着。夕食を19時からに遅らせて貰い先ず雨に濡れて冷えた体を大きな湯船に浸かって温める。左足がパンパンに腫れている。

19時から夕食。地産地消がモットーのコース料理を頂く。ビールが旨い！夕食後ストレッチ・マッサージを入念にする。

21時頃椅子に足を上げたまま寝る。これでたまった乳酸が流れるか？

27(火) 浅間隠山　↑1h(1h20)/↓52(1h)　計2h05(2h20)

4:54～掃部ヶ岳に登り下山後浅間隠山へ移動。

9:18 登山口P着。先着1台。後から次々とやって来る。今日は快晴昨日のリベンジを。

9:22～昨日歩いた道を登る。途中「急坂」と「ジグザグコース」に分かれ急坂を行く。昨日の雨で道が随分抉られている。



10:11 わらび平分岐。「山頂まで6分」の表示。昨日はこの辺りから豪雨になった。



10:19 昨日引き返したポイント。本当に後僅かの所だった。ここからは大きな木は無く笹原の中の道。アヤメ・コマチソウ等の花が多い穏やかな道だ。

10:22 浅間隠山山頂 1757m。1番乗り。小広い山頂には小さな祠がある。正面に浅間山が聳え素晴らしい眺め。苦労が報われる。



10:35～下山開始。途中で会った人は3度目だが今迄は眺望が悪かったそうだ。笹に隠れた道が抉られていて危ない。

10:43 わらび平分岐。この前後で10人程とすれ違う。どんどん登って来る。手軽に登れて眺めが良いので人気がある様だ。

11:27 登山口P着。やはり足が痛いので岩菅方面の山を諦め百名山優先で本白根山に向かう。

10 月号の案内

表紙の絵　　屋根谷　克己　さん　（らくなん山の会）



アセビ

家の庭木です。

＊コロナ以降、ソーシャルディスタンスによって山小屋の定員数も制約され、多くの小屋が予約制に切り替えられました。キャンセル料が発生し、宿泊費も大幅に引き上げられています。人気の小屋は週末や連休は予約開始初日から埋まり、なかなか取れません。平日に計画するか、テント泊に切り替えるか避難小屋か悩みます。

この９月のシルバーウイークに長年の目標だった南アルプスの荒川岳周回を計画していました。

しかし台風接近による秋雨前線の活発化で、ちょうど予定日に降雨が続くとの予想のため、断念せざるを得ませんでした。

同じこの日、大阪在住で「片足のアルピニスト」桑村雅治さんが椹島から赤石岳・荒川岳を登頂していることをフェイスブックで知りました。雨で小屋に泊まれたと。片足で日本百名山を目指す 62 歳の桑村さんはあと 23 座となった今年、赤石岳・荒川岳を踏破しました。槍や剣は既に踏破しているので、あと鳥海山、水晶岳や利尻岳、トムラウシ・幌尻岳などを登って２年後白山で百座目達成する予定だそうです。

＜お知らせ＞

表紙のイラストや写真を提供ください

労山会員の方やお知り合いで連載を引き受けてくださる方をご紹介ください。例えば「野鳥に詳しい方」「高山植物、野草に詳しい方」「コケやきのこに詳しい方など会員みなさんに知識を広めてくださる方を募っています

【投稿先】　京都府勤労者山岳連盟　機関誌委員会　高野　寛

ﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽ　hirossan-1954@nifty.com

＊原稿サイズ　Ｂ５版　１行約 36 字　１頁約 36 行

＊字体　ＭＳ明朝体　１１Ｐ　余白上、左、右各２０㎜ 下２０㎜

２０２６年　京都府連盟　月間予定表

１０月　神無月・OCT		
1	木	
2	金	
3	土	冬山勉強会　実技：体力トレ　比良山 大文字山登山道整備
4	日	初級登山学校　机上：開校式（他）
5	月	自然保護委員会
6	火	事務局長会議
7	水	
8	木	
9	金	
10	土	
11	日	冬山勉強会　テント泊　木曽駒ヶ岳
12	月	冬山勉強会　テント泊　木曽駒ヶ岳 スポーツの日
13	火	常任理事会
14	水	
15	木	
16	金	やまびこ利用日
17	土	
18	日	初級登山学校　実技：ボッカ　比良山
19	月	京都労山印刷　遭難対策部 ハイキング委員会
20	火	教育委員会
21	水	
22	木	冬山勉強会　机上：防寒・低体温症
23	金	
24	土	
25	日	初級登山学校　机上：読図　歩行技術
26	月	常任理事会
27	火	気象勉強会
28	水	
29	木	
30	金	
31	土	初級登山学校　実技：テント泊 冬山勉強会　テント泊：空木岳

１１月　霜月・NOV		
1	日	初級登山学校 実技:比良テント泊縦走 冬山勉強会　テント泊：空木岳
2	月	自然保護委員会
3	火	文化の日
4	水	事務局長会議
5	木	冬山勉強会 机上･積雪期登山の歩行技術
6	金	
7	土	遭難捜索訓練
8	日	冬山勉強会　実技：公開アイゼントレ
9	月	常任理事会
10	火	
11	水	
12	木	冬山勉強会 机上･冬山の幕営生活技術
13	金	
14	土	京都労山 60 周年記念講演会
15	日	遭対部・訓練山行岩登り（金毘羅）
16	月	京都労山印刷　遭難対策部 ハイキング委員会
17	火	教育委員会
18	水	
19	木	
20	金	やまびこ利用日
21	土	大文字山登山道整備 冬山勉強会　冬山テント泊と歩行訓練
22	日	冬山勉強会　冬山テント泊と歩行訓練
23	月	冬山勉強会　冬山テント泊と歩行訓練 勤労感謝の日
24	火	常任理事会　気象勉強会
25	水	
26	木	
27	金	
28	土	
29	日	初級登山学校 実技：読図山行・瓢箪崩山
30	月	